

CHARGE

2023
Spring
VOL. 99



4月1日より
中小企業も対象

月60時間を超える時間外労働の 割増賃金率が50%に引き上げ

ご対応は
できていますか?

これまで、企業が従業員に支払う月60時間を超える時間外労働の割増賃金率は大企業が50%、中小企業は25%で運用されてきましたが、今般、中小企業の割増賃金率についても大企業と同様、50%の引き上げが実施されました。引き上げに当たっては多くの整備事業者の皆様が対象になると考えられます。就業規則の変更を含めたご対応はできていますか?

時間外労働時間の算定などには深夜労働や休日労働も関連してきます。月60時間を超える時間外労働を深夜(22:00~5:00)の時間帯に行わせる場合は、深夜割増賃金率25%+時間外割増賃金率50%=75%を支払わなければなりません。また、月60時間の時間外労働時間には、法定休日に行った労働時間は含まれませんが、それ以外の休日に行った労働時間は含まれますので注意が必要です。

なお、月60時間を超える法定時間外労働を行った従業員には割増賃金の支払いの代わりに有給の休暇(代替休暇)を付与することができます。

4月1日(土)
より適用



月60時間超の時間外労働割増賃金率 中小企業の割増賃金比率を引き上げ

	1か月間の時間外労働 (1日8時間・1週40時間を超える労働時間)	
	60時間以下	60時間超
大企業	25%	50%
中小企業	25%	25%→50%

出典：厚生労働省・中小企業庁

ANZENでは作業時間短縮につながる、省力化・効率化機器をご用意しておりますのでお気軽にお問い合わせください



浦車体整備工場有限公司



太平興業株式会社 長岡支店

INDEX

02 > 浦車体整備工場有限公司 **小型**

04 > 太平興業株式会社 長岡支店 **大型**

08 > 第37回
オートサービスショー2023
出展のご案内

浦車体整備工場有限会社



●店舗情報
浦車体整備工場有限会社
徳島県徳島市論田町新開66-106
TEL：088-663-1593
従業員数：32名(メカニック13名)

●今回お話を伺った方



代表取締役
浦 彰彦 様

ユーザーレポート!



G-SWATからARGOSへ、特定整備時代の整備工場にアップデート アライメントでハイクオリティサービスを提供

浦車体整備工場有限会社(徳島県徳島市)は車体整備を主体に、品質の高い整備を提供する専業事業者として業界内外より高い評価を受けてきました。月間の車体整備の入庫台数は約150台。台当たり単価は四国のみならず、全国的にもトップレベルの事業者です。損害保険会社をはじめ、ディーラーからも絶大な信頼を築いてきたことがうかがえます。また、最新かつ高い品質の修理を行える工場の証となる『TÜV(テュフ)プラチナ認証』も同工場は取得しています。

その技術力とお客様対応はまさに折り紙付き。そのサービスクオリティを象徴するのが四輪アライメントテスターの設備とそのサービスです。まだアライメントが一般的ではなかった約30年前に、いち早く四輪アライメントテスターを導入しました。当時、いくつかのテスターが国内で発売される中、浦彰彦社長が選んだのが四輪アライメントテスター“G-SWAT”でした。正確な診断と使いやすさがなによりも決め手となり導入を決意、以来車体整備をはじめ、足回り整備のいちメニューとして展開してきました。

浦社長は医者为例にとり、「正しい診察を受けて適切な診療を受けるためには設備が整っている医院に行きます。クルマも同じで、適切な修理を行うためには設備が重要です」と設備機器の重要性を説きます。

整備作業場を新設し、検査ラインを一新 レッカー車の整備に6トンリフトを設備

特定整備による電子制御装置整備のニーズが高まる中、四輪アライメントテスターはますます重要な役割が求められています。適正にエーミングを実施するには正しいアライメントが前提になるからです。浦車体整備工場では車体整備後のエーミング

だけでなく、エーミング単体の入庫も増加しているため、四輪アライメントテスターを増設しました。今回設備したのが、アタッチメントを取り付けることなく測定が行えるタッチレスホイールアライメントテスター“ARGOS”です。測定時間5秒のテスターは需要が増加する同社のニーズに合致していました。また、“ARGOS”の活用に浦社長は別の構想も検討しているようです。

「近い将来、自動運転レベル3以上のクルマが一般化してくると思います。自動運転ではホイールアライメントがさらに重要です。もしアライメントが適正でなければ、危険な事故に繋がるかもしれません。そうした自動運転システムの搭載車を対象に、ホイールアライメント診断を付けた車検の商品化を検討しています」(浦社長)。

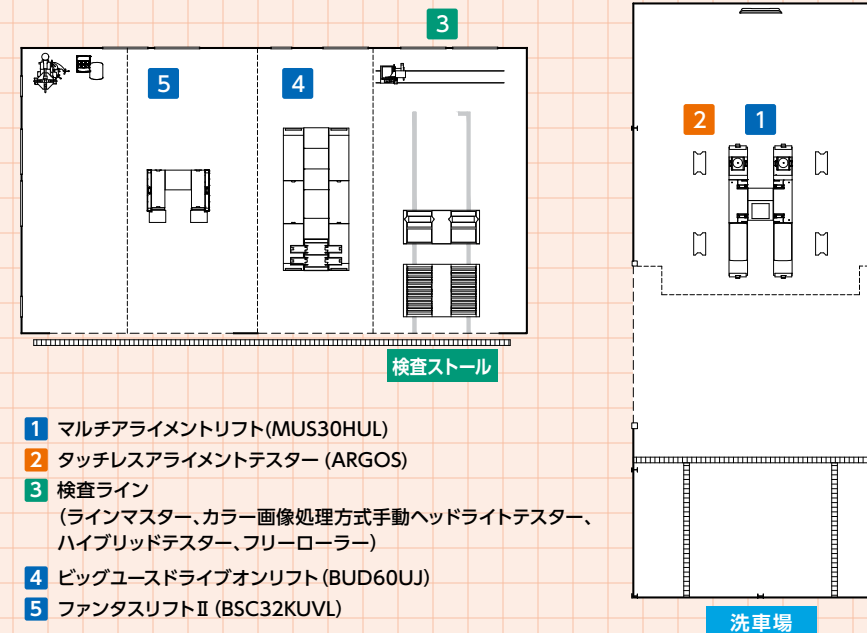
現在、同社の車検入庫は年間約500台。今後さらに車検入庫の拡大を視野に入れ、今般、検査ラインを代替えし、リフトを増設。作業場を新設しました。

検査ラインシステムは“ラインマスター”、検査機器はサイドスリップ、ブレーキ、スピードを一体型にした“ハイブリッドテスター”、フルタイム四駆に対応する“多軸フリーローラー”をユニット化し、検査の効率化を図りました。一方のリフトはクラス最高の6トンの能力を持つビッグユースドライブオンリフト“BUD60UJ”を導入しました。

「レッカーサービスを行っていますが、これまでレッカー車や積載車の整備は外注に出していました。5トン仕様のリフトも検討しましたが、それだとレッカー車は上げられません。ビッグユースドライブオンリフトでレッカー車などの整備を内製化できるようになりました」(浦社長)。

新たな整備機器を導入し、浦車体整備工場は特定整備にふさわしい、ひとつ上のステージに進みました。

図面でわかる! ここがポイント! 高性能整備機器の導入と車検機器一新で幅広いニーズに対応した工場に



- 1 マルチアライメントリフト(MUS30HUL)
- 2 タッチレスアライメントテスター (ARGOS)
- 3 検査ライン
(ラインマスター、カラー画像処理方式手動ヘッドライトテスター、ハイブリッドテスター、フリーローラー)
- 4 ビッグユースドライブオンリフト (BUD60UJ)
- 5 ファンタスリフトⅡ (BSC32KUVL)

販売会社：株式会社南海プランナー



営業担当者のココがポイント!

車検ラインシステム、6tのビッグユースドライブオンリフト、そしてARGOSと、最先端設備を導入した、浦社長の想いが込められた「クリーンで未来を見据えた整備工場」のお手伝いができ大変光栄に思います。浦車体様は28年前に当社のアライメントテスターG-SWATを導入して頂いてから今も現役でご使用いただけております。今回の設備も長くご使用いただけるようにアフターサービスもしっかりと対応させていただきたいと思っております。



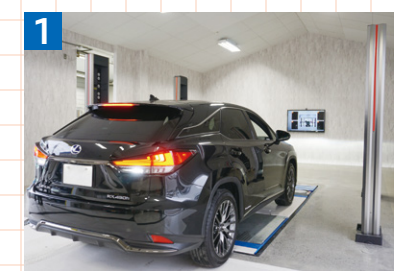
(左：販売会社社長 笠井様、中央：代表取締役 浦様、右：高松営業所 野田)



このページに掲載中の機器は左のQRコードよりカタログをご覧ください



▲タッチレスホイールアライメントテスター“ARGOS”



▲アライメント仕様でドライブオンタイプの“マルチアライメントリフト”を設備



▲アタッチメントが不要で測定時間はわずか5秒。モニターは標準40インチから60インチに変更し、抜群の視認性



▲TÜV(テュフ)プラチナ認証



▲新築した工場。検査ライン、リフト2基の3ストール



▲検査ラインを一新し、トータル車検ラインシステム“ラインマスター”を導入



▲ビッグユースドライブオンリフト“BUD60UJ”を新設。クラス最高となる6トンの能力でレッカー車整備を内製化



▲新工場の横にもうひとつの作業場を保有。“G-SWAT”は今も現役



▲レッカーサービスにも注力し、車両のトータルサポートが可能

太平興業株式会社 長岡支店



●店舗情報
 太平興業株式会社 長岡支店
 新潟県長岡市福道町2895-6
 TEL：0258-89-7173
 従業員数：55名(メカニック21名)

●今回お話を伺った方



お客様へ安心・安全のサービスをご提供。 地域を支える最新の大型車整備工場

新潟県内に7拠点、秋田県内と山形県内に各4拠点、東京都に本社を構える三菱ふそう特約販売会社の太平興業株式会社。同社長岡支店は2023年1月23日、JR上越新幹線・長岡駅にほど近く、北陸自動車道・長岡北スマートICが目の前にあり近隣には運送会社が林立する、長岡北スマート流通産業団地内に移転、リニューアルオープンしました。

最新整備機器を導入し、サービス力向上。 メカニックの作業環境改善にも注力

旧・長岡支店の整備工場は「約37年前に建てられたため、設備の老朽化が進んでおり照明も暗く、リフトも充実していなかったので作業が大変でした。また馬小屋式の建屋で、全長の長い大型車を出入庫しにくい構造だったので作業効率も悪かったです」と神田支店長。そのため、敷地面積を従来の約2倍、整備工場の面積を約1.3倍に拡大しました。大型車が余裕を持って出入庫できる幅の広い通路を備えながら、検査ラインのほか計12もの整備ストールを設置した整備棟には、亜鉛メッキ仕様のリフト、給油口やバキューム廃油システムなどを集約した特注のステンレス作業台など、地域の特性に考慮した整備機器を導入した長岡支店。作業の効率化を図るのはもちろんのこと、重整備ストールに吊り下げ工具ボードを設置するなど、工場に様々な工夫をこらすことによってメカニックの働きやすさにもつながっています。さらに、敷地内に新潟県内のお客様に納める車両の架装・納車前整備を担う車両センターを新設したことで、同社における新潟県内のハブ拠点へと進化を遂げました。車両センターにはエーミング作業を行う平場や、塗装ブース、洗車場、完成検査ラインを設置し、納車整備

を一手に担うことが可能になりました。また、お客様にも快適な空間をご提供するため、入庫車両の整備を見守れるカウンターやソファを備えたカフェ風の待合スペースを設置しました。この度、地域の大型車整備を担う新拠点として声をあげた長岡支店の新工場をご紹介します。

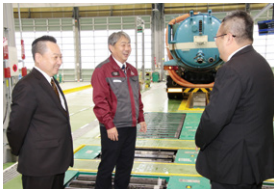


▲入庫車両の整備を見守ることができ、快適な空間をご提供する男女別のお客様待合室

営業担当者のココがポイント！

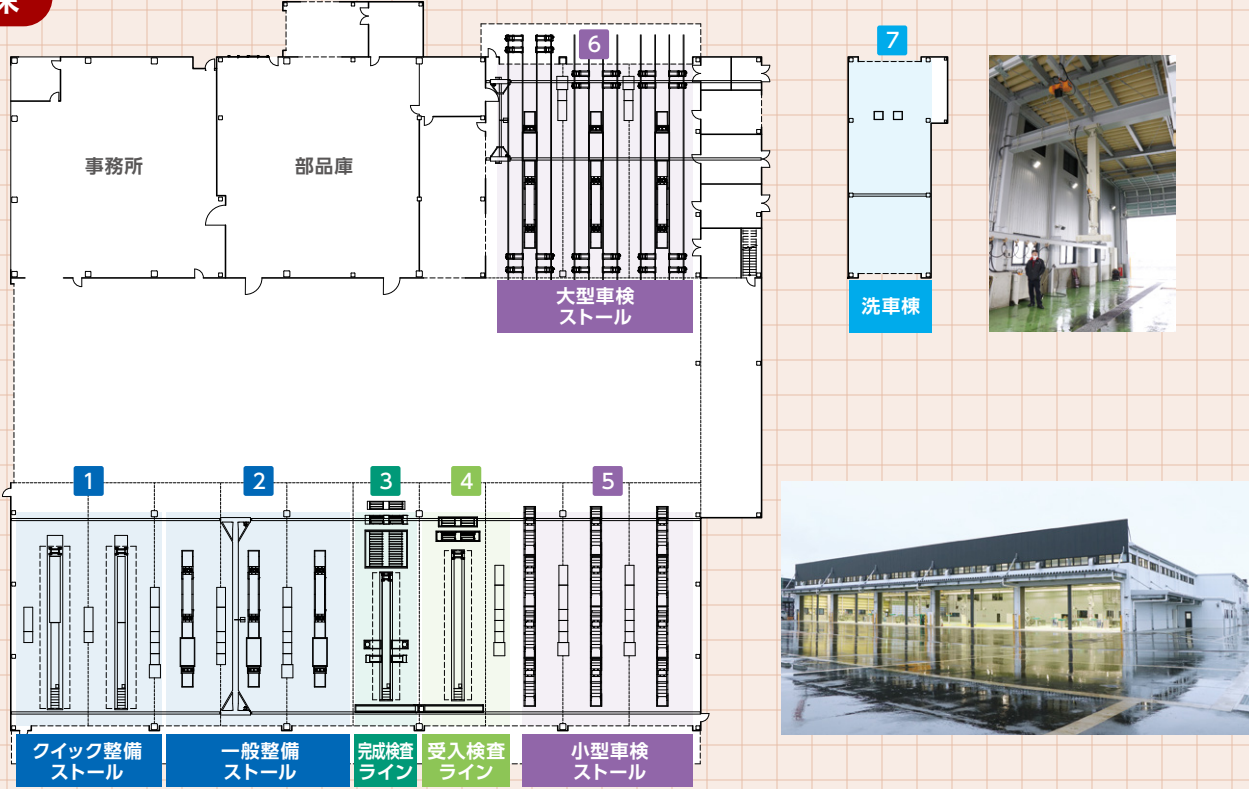
亜鉛メッキ仕様のツインパワーリフトは今後、雪国で整備されている多くの方々の選択肢の一つとなると感じています。リール収納付きのステンレス作業台を設置することで、吊り下げリールを無くし、工場内は明るく、走行クレーンの稼働範囲が広がりました。これも皆さまからのアイデア無くしては形になりませんでした。今後もアフターフォロー含め、より一層尽力してまいります。

左：長岡支店長 神田様
 中央：長岡支店次長 諏訪様
 右：関東支店 吉目木



図面でわかる！ここがポイント！ 錆に強い特注リフトを設置し、様々な入庫車両を徹底整備

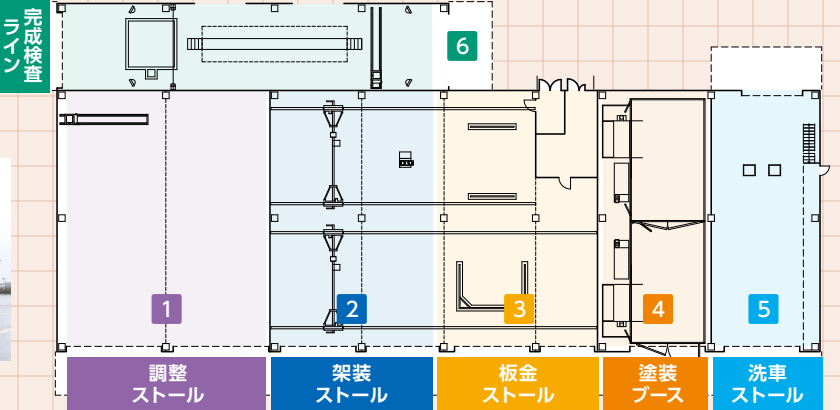
整備棟



車両センター



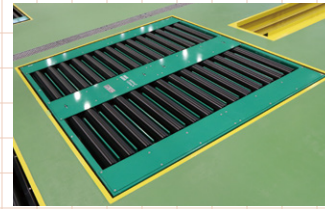
- 1 ヘッドライトテスター用レール (エーミング機器併用)
- 2 テストリフト×1基、天井走行クレーン×2基
- 3 板金レール



整備棟



▲亜鉛メッキ仕様の“4柱式ツインパワーリフト”は、大型車はもちろん、小型トラックを2台同時に整備することが可能で作業効率向上

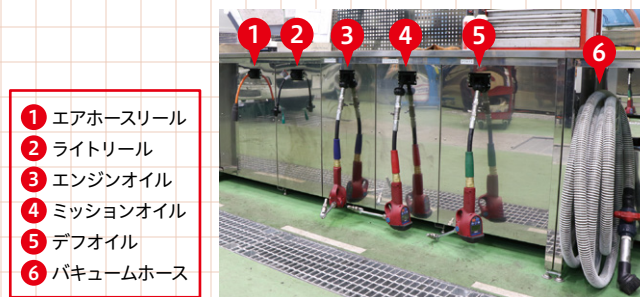


▲14軸の特注フリーローラー

◀ミッションなどを取りはずす際に便利な鉄板を埋め込んだ“2柱式ツインパワーリフト”



▲特注のステンレス作業台には各種リールやバキュームホースなどが格納されており、作業効率化に寄与



- 1 エアホースリール
- 2 ライトリール
- 3 エンジンオイル
- 4 ミッションオイル
- 5 デフオイル
- 6 バキュームホース

地域の特性を考慮した整備機器の導入で作業効率向上とメカニックの作業負担を軽減

整備棟には、亜鉛メッキ仕様の“4柱式ツインパワーリフト”、同じく亜鉛メッキ仕様かつ鉄板が敷かれた“2柱式ツインパワーリフト”、“2分割フロアリフト”が導入されています。リフトの亜鉛メッキ仕様は「土地柄、融雪剤の影響が非常に大きく、機械にとって厳しい環境です。機械が故障してしまうと整備作業が止まってしまう、お客様にご迷惑をおかけしてしまいます。そんなことが起きないようにするのはもちろん、厳しい環境でも可能な限り機械を長く使用できればとの思いで特別に作っていただきました」と諏訪次長。徹底したお客様第一の視点に根ざした選択をされていました。

完成検査ラインにはトータル車検ラインシステム“ラインマスター”を導入されたほか、ヘッドライトテスター“HLI-2015”のレールを隣接する受入検査ラインにまで延長し、双方で使用可能にしつつADASエーミング用ターゲットの設置にも対応。「マイクロバスの4WD車はふそうにしかなく、地域柄検査台数も多い」（諏訪次長）ため、14軸の特別なフリーローラーを導入されています。

ストールの間には、工具やリールなどを収納できる特注のステンレス作業台を配置。給油口やバキューム廃油システムなどもステンレス作業台に集約することでメカニックの作業効率化を図っています。また配管をグレーチングの下に収納し、吊り下げリール架台を廃止することで天井走行クレーンの移動自由度を高めました。大型車検ストールには吊り下げの工具ボードを設置し、工具を各所に配置することで、わざわざ工具を取りに移動しなくてもいいようにメカニックの作業負担軽減

に貢献しています。

車両センターは、用品の取り付けやADASのエーミングなどを行う調整ストール、天井クレーン2基のほかボディー修正装置用レールも埋設された架装・板金ストール、完成検査ライン、塗装ブース、洗車ストールで構成されています。

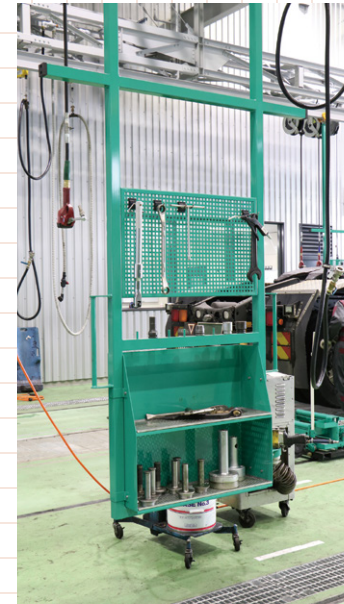
今回導入した大型車用塗装ブースの中央にはパーティションが設けられており、部屋を区切ることで小型トラック2台を同時に塗装できるよう工夫されています。神田支店長は、「当社では新車の供給不足や長納期化に対応すべく、近年は中古車の販売にも注力しています。しかし、新潟のような豪雪地域では融雪剤による車体の錆が発生しやすく、この地域で使われた中古車は人気がありません。対策として、車両センターから納車させていただく全車両に防錆塗装を施すことにしました。そうすることで、5～6年間のリース契約でメンテナンスさせていただきながら、リースアップの際に程度の良い中古車を仕入れることができます」と狙いがあるとのこと。

完成検査ラインには“3次元測定システム”や“車高測定装置”、“軸重計”を導入。「架装した車両の予備検査や事前申請のための書類作成を行う際、車高などの数値が簡単に測定でき、書類もすぐに印刷できるので非常に便利」（神田支店長）と好評です。今後は他社からの依頼も受け入れ、さらなる収益拡大を目指すといいます。お客様への真摯な対応はもちろんのこと、メカニックの働く環境改善にも尽力する長岡支店は今後、同社の象徴的存在となるでしょう。



ページに掲載中の機器は左のQRコードよりカタログをご覧ください

車両センター



▲“吊り下げ工具ボード”は必要工具を設置することでメカニックの作業負担軽減に寄与



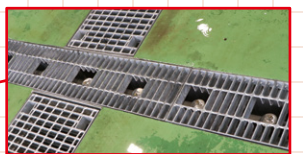
◀吊り下げリール架台を取り払ったことで、天井走行クレーンの稼働範囲を拡大



▲“フロアリフト”はクイック整備に活躍



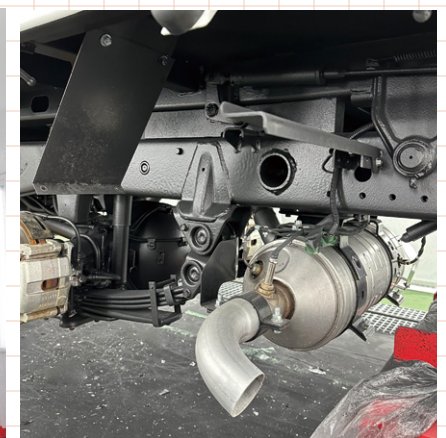
▲洗車場には上下に散水栓を設置し、作業効率化を実現



洗車場の動画はこちら



▲塗装ブースは前後に2分割でき、小型トラックなど2台同時作業が可能に



▲防錆塗装の全車施工を行うことで、納車前整備の品質を向上



▲架装車両の完成検査ラインには様々な効率化機器を導入



▲“3次元測定システム”と“車高測定装置”の導入で情報精度を高め、作業効率化も実現



▲ヘッドライトテスターのレールを併用してエーミング用ターゲットを設置

4年ぶりに
復活!!

第37回

オートサービスショー2023

来場者事前登録は
こちらから



2023年

6.15木~17土

東京ビッグサイト 東1・2・3ホールおよび屋外
ANZENブース:東2ホール239/屋外Y-3

お客様が抱える問題を解決する、半歩先を見据えた製品の展示・プレゼンを行います

※写真は前回のANZENブース

主な出展商品

- 完成検査ライン
- 最新ヘッドライトテスター



- 最新アライメント
テスター
- モバイルコラムリフト



- エーミング機器
- 門型洗車機
- 中古再生ツール



課題となっている「効率化」「省力化・負担軽減」「コンプライアンス」「環境」「次世代整備」に特化した製品を多数出展予定です

ご来場、心よりお待ちしております

オートサービスショー特設サイト

間もなくOPEN!!

ANZENブースの
情報が満載!!

ANZENブースがよく分かる「オートサービスショー特設サイト」が4月中頃オープン予定しております。随時、情報をアップしていきますので、サイトを見た上で当日、会場にて実機をご覧ください



コンセプト

今回のANZENテーマ「ANZENはお客様の安全・安心をサポートいたします」をご紹介します

ガイドブック

出展商品を網羅したガイドブックが展示会前にダウンロード可能です

アーカイブ動画

会期後には、当日の様子やオススメ商品をピックアップしたアーカイブ動画を掲載予定

OPEN連絡はメルマガにてお知らせ



情報を更新した際にもメルマガにてご案内しますので、ぜひとも登録ください

ANZEN ニュース で 検索

ANZEN
安全自動車株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-16-25
TEL(03)5441-3412 FAX(03)5441-8848
ANZENホームページ <https://www.anzen.co.jp>

札幌支店 札幌市中央区南19条西8-2-21 TEL(011)511-6241(代)
釧路営業所 札幌市中央区南19条西8-2-21 TEL(0154)24-0161(代)
仙台支店 仙台市宮城野区日の出町2-2-8 TEL(019)637-8711(代)
盛岡営業所 仙台市宮城野区日の出町2-2-8 TEL(019)637-8711(代)
関東支店 戸田市氷川町2-8-31 TEL(029)241-0932(代)
水戸営業所 戸田市氷川町2-8-31 TEL(025)274-7131(代)
新潟営業所 戸田市氷川町2-8-31 TEL(025)274-7131(代)
東京支店 東京都港区芝浦4-16-25 TEL(043)284-2600(代)
千葉営業所 東京都港区芝浦4-16-25 TEL(043)284-2600(代)
名古屋支店 名古屋市中区金山5-12-3 TEL(076)248-0499(代)
金沢営業所 名古屋市中区金山5-12-3 TEL(076)248-0499(代)
大阪支店 大阪市西淀川区御幣島2-1-14 TEL(078)265-0375(代)
神戸営業所 大阪市西淀川区御幣島2-1-14 TEL(082)832-3630(代)
広島営業所 福岡市東区多の津3-7-7 TEL(099)213-0762(代)
福岡支店 福岡市東区多の津3-7-7 TEL(099)213-0762(代)
南九州営業所 福岡市東区多の津3-7-7 TEL(099)213-0762(代)

(株)松本安全 松本市大村383-11

TEL(011)511-6241(代)
TEL(022)236-1211(代)
TEL(024)942-5311(代)
TEL(048)447-6881(代)
TEL(028)635-8821(代)
TEL(027)384-3001(代)
TEL(03)5441-3413(代)
TEL(045)391-9913(代)
TEL(052)871-1811(代)
TEL(054)236-5066(代)
TEL(06)6472-0361(代)
TEL(086)434-0259(代)
TEL(087)843-6531(代)
TEL(092)623-4646(代)
TEL(098)876-3873(代)
TEL(0263)45-2181(代)

保守点検のおすすめ

ANZEN製品を長くご利用いただくため、保守点検サービス(有料)のご利用をおすすめします。お近くの支店または営業所までお問い合わせください。

ANZEN カスタマーサービス

0120-01-6361 当社の製品およびサービス、その他に関するお問い合わせは左記へ。(受付時間:月~金 AM9:00~PM5:00)

ANZEN で 検索
<https://www.anzen.co.jp>

●発行所/安全自動車株式会社 営業企画部 販促企画グループ 東京都港区芝浦4-16-25

●ANZEN NEWS CHARGE 99号 (2023年4月発行)

※外観・仕様は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

最新の業界情報をお届け! ▶▶▶

ANZENメルマガ会員募集中
詳しくは ANZEN ニュース で 検索



UD FONT